

2023年度 尼崎市自発的活動支援事業 成果報告

NPO法人 尼視協

「ほしい情報は待たない，
自ら取りに行く，
そして耳で読む。」

■NPO法人 尼視協とは

尼崎市と周辺諸地域の視覚障害者、個々人のQOLを高め、障害者福祉の向上及び自立支援、そしてまた、若い世代及び 今後視覚障害になられた方の受け皿になれる「魅力ある」NPOを目指し、日々活動しています。

※詳しくは、次のURLから当法人のWebサイトをご覧ください。

<http://www.amashikyo.org/>

■ 活動のテーマと狙い

視覚障害者の読書バリアフリー推進や情報アクセシビリティ解消が叫ばれています。

しかしながら、これまでの点訳/音訳による情報提供では、近年の情報量の増大/データ形式の多様化/即時性の追及に迅速に対応できなくなっています。

当事者においてもサピエ図書館、パソコン及び専用デバイスの利活用を進めてきました。そして、一定の普及とノウハウの蓄積が図られていますが、まだまだ十分とは言えません。

そこで、情報量の増大/データ形式の多様化に対応するため、改めて利用当事者のすそ野拡大及び利用技術の底上げを目指しました。

■ 活動実績 1 視覚障害者の専門講師による講義と体験会

- 日時 令和5年11月30日（木）
- 対象者 視覚障害者及び支援者（ITサポーターや同行援護者など）
- 参加人数 35人[内訳：障害者20人（会員11人 市外9人）]
- 開催場所 尼崎市身体障害者福祉会館 学習室1, 2
及びOnline(ZOOM)のHybrid
- 周知方法 自作ポスターを当該福祉センターと福祉会館の掲示板へ張り出し、また近隣視覚障害者団体へメール/SNSで通知を行いました。

■ 活動実績 1 視覚障害者の専門講師による講義と体験会 (実施内容について)

- ・ サピエ図書館の機能と提供サービスの再確認
- ・ 電子図書閲覧アプリMy Bookの機能説明と操作体験
- ・ 専用機器プレックストークPTR3の機能再確認とパソコン関係



■ 活動実績 2 サークル活動による定期的なフォロー

●開催日時

令和6年1月16日(火)、2月20日(火)、3月19日(火)

●実施内容

講習会で理解不足であった機能の個別フォローを行いました。特に 新デバイスの紹介や操作説明とオンラインコンテンツ利用の促進などを説明しました。今後も 定期的に継続していきます。

■ 実施効果

●専用デバイスであるプレックストークPTR3の基本操作を再確認することができました。

⇒身障会館や自宅Wi-Fiとの接続，サピエ図書館からのダウンロードが可能となりました。

●情報アクセスニーズに応じた利活用ノウハウの共有推進を当事者同士で教えあう事で一層の効果があることを再確認することができました。

⇒今後もサークル活動を通じて継続的に学習の場を設ける予定です。

■ 今後の展望

サピエ図書館から，一般図書だけでなく、自治体や当事者団体の刊行物/法令/通知/ガイドラインなどを効率的に入手し，情報取得できる仕組みを

「提供待ちではなく 自ら構築」

していくことが 肝要であると感じました。